

# 展示資料の概要

## 越前国の地誌(地理書)

「越前地理指南」<sup>えちぜんちりしなん</sup> — 4. 東尋坊の悪霊

貞享2年(1685)成立。藩命により各地の寺社・城館・山川などを項目ごとに解説。

「帰雁記」<sup>きがんき</sup> — 6. 白鬼女 11. 九頭竜

正徳2～享保2年(1712～17)頃成立。福井藩士・松波正有の著作。

「越前国名勝志」<sup>えちぜんのくにめいしょうし</sup> — 5. 夜叉ヶ池

元文3年(1738)成立。元丸岡藩士・竹内芳契が、郡ごとに名所・古跡を解説。

「越前国(古今)名蹟考」<sup>えちぜんのくにここんめいせきこう</sup> — 3. 妻に化けた大猫 9. 漆ヶ淵の龍 10. 海上の怪異

13. 松岡の霊火 14. 元覚堤の人柱

文化12年(1815)成立。福井藩士・井上翼章が、従来の地誌の記載を集大成。

## 越前国の逸話集・随筆集

「越有雑語集」<sup>えつゆうざつごじゅう</sup> — 7. 月代の皮 16. 老カワウソの手

「南越見聞雑記」<sup>なんえつけんぶんざつき</sup> — 8. 行灯の油を舐める小児

「謾録」<sup>まんろく</sup> — 2. 大火を煽る大法師

3冊とも成立年・著者は不詳。福井藩主や藩士、武家にまつわる逸話を収録。

「真雪草紙」<sup>まゆきぞうし</sup> — 1. 柴田勝家の亡霊 15. 隅櫓下の巨大スッポン

22. 隅櫓下の巨大ゴイ 23. 若宮淵のヌシ

明治14年(1881)成立。幕末の福井藩主・松平春嶽が藩政期の見聞を著した随筆。

## 全国各地の奇談集・紀行文集

「會呂利はなし(會呂里物語)」<sup>そろりものたり</sup> — 21. 抜け首

寛文3年(1663)刊。著者不明。各地の不思議な話、怪しい話を集めた奇談集。

「伽婢子」<sup>おどぎぼうこ</sup> — 19. イモリの妖

寛文6年(1666)刊。仮名草子作者・浅井了意が中国の怪異小説を翻案した小説集。

「新著聞集」<sup>しんちょもんじゅう</sup> — 17. 孫右衛門が嬬

寛延2年(1749)刊。紀州藩士・神谷養勇軒が各地の怪談・珍談を集成した奇談集。

「東遊記後編」<sup>とうゆうき</sup> — 18. ばた餅化物

寛政9年(1797)刊。京の儒医・橘南谿が各地を巡遊した見聞を編んだ紀行文集。

## その他

「A Daimio's Government(大名政府)」<sup>だいめいせいふ</sup> — 20. イツパクの霊

成立年不詳。福井藩のお雇い外国人 W.E. グリフィスが執筆した原稿(未刊)。

「福井県管下越前国敦賀郡神社明細帳」<sup>ふくいけんかんとくえちぜんこくあつが郡しんじあはらひ</sup> — 11. 海中から来た怪牛

明治12年(1879)成立。政府の命をうけて神社の祭神・由緒などを記した公文書。